

# 授業見学レポート

社会福祉学部 准教授  
社会福祉学修士 水島正浩

この度は、中島総長先生による臨床心理士試験に向けた「論文問題対策」についての授業を見学させて頂きました。実際にこれまで出題されてきた頻出の問題に対する解答を作成させていくというものでございましたが、大変緻密で無駄のない授業構成や指導方法等であり、多くのことを学ばせていただく機会となりました。とりわけ、次の3つの点については、今後実践させて頂く上での具体的な学びとなりました。

一つ目の点は、「問いの主題から外れないよう導くこと」でした。この度の授業では、厳選された3種類の資料の音読や重要な点の理解を進めさせていく中で、自分の考えを書いていく際にポイントが外れないよう徹底されていきました。

二つ目の点は、「集中させること」でした。この度の授業では、常に時間管理や声かけをしながら今何をしなければいけないのかを明確に示されており、授業中に行う読むことや書くこと、そして考えることなどに全員が集中して取り組んでいました。

三つ目の点は、「自信を持たせること」でした。この度の授業では、学生の作業前後に、必ず先生方から何のために行っているのか、これを行えばどうなるのかということが示されており、作業を積み重ねていく度に自信が増していくよう導かれていきました。

私もこれまで、授業の中でこうした論述問題を指導する機会がありましたが、自分の考えを書かせていく際どんどん主題から外れていく学生がいて、文としては良くても得点に繋がらないという学生が見受けられました。時間をたくさんかけて得点に繋がらないということから集中力や自信を無くしていくという悪循環に陥ってしまう学生もいたように思います。

この度の授業を見学させて頂くことを通して、合格という目的のための授業を行う上でに教員に必要な具体的な方法を改めて実感させていただくことができました。今後こうした実践方法や自らの反省点も踏まえながら、授業に生じている課題の克服に役立てていきたいと考えております。